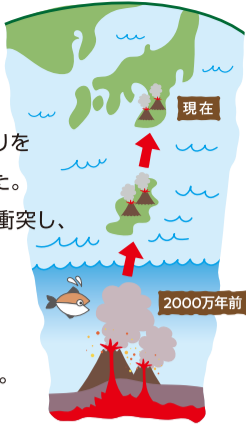


南の海からやってきた!

多くの旅人が訪れる伊豆半島。実はこの半島そのものも旅人なのです。南の海で誕生した海底火山は、噴火を繰り返しながら800kmを越える道のりを2000年以上の年月をかけて旅してきました。約100万年前にはその行く手にあった本州と衝突し、現在の伊豆半島になりました。変化に富んだ地形や豊かな温泉、さまざまな文化といった伊豆の長い旅のお話を耳を傾けてみましょう。



伊豆半島の旅が教えてくれたこと

1 海底火山が何をしてくるか教えてくれる

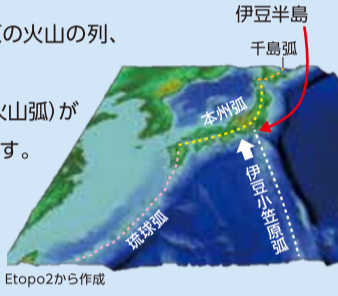
地球表面の70%を占める海。この広大な海の底をつくってきた海底火山を知ることは、地球全体の大地のなりたちや将来の姿を知ることにもつながります。伊豆には海底火山の地層が広く分布しています。本州との衝突による隆起によって、本来は目にすることが難しい海底火山の姿を目のあたりにすることができるようになりました。海岸などに美しく露出する海底火山のなごりは世界の海底火山研究をけん引してきた場所でもあるのです。



この地図の青色のところはかつて海底だった大地です

2 火山の列どうしが衝突し続ける場所の姿を見られる

伊豆半島から南に延びる伊豆一小笠原の火山の列、本州を形作る火山の列、活火山を多く含むこの2つの火山の列(火山弧)がぶついているその場所が伊豆なのです。現在も続く衝突は伊豆半島の中にさまざまな地形を形作ってきました。



Etopo2から作成

伊豆の旅をもっと楽しく!もっと詳しく!

無料で配布『伊豆ジオMAP』

観光施設などで配布しています。本ドライブマップと一緒に見ると分かりやすいです。



ジオサイトにある『解説看板』

各ジオサイトには土地の成り立ちを詳しく解説する茶色い看板があります。ぜひチェックしてみてください!



『自転車』でジオサイトめぐり

伊豆各地にはレンタサイクル店があり、手軽に自転車の旅を楽しむことができます。https://izugeopark.org/enjoy/cycling/



『伊豆半島ジオパーク認定ガイド』

見過ごしてしまうようなありふれた景色に、なぜその景色になったかという背景があることを、分かりやすく案内してくれます。<ご依頼・お問い合わせ先>伊豆半島ジオガイド協会 Tel/Fax 0558-74-5423 http://www.izugeoguide.org/



伊豆半島ジオパークミュージアム

ジオリア
伊豆市修善寺838-1(修善寺総合会館内)
Tel.0558-72-0525
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 水曜日(祝日の場合は翌平日)
入場無料 https://georia.izugeopark.org/



地域のジオパーク案内

- | | |
|---|--|
| <p>1 西伊豆ビジターセンター
(こがねす内)
Tel.0558-55-0580</p> <p>1 沼津ビジターセンター
(道の駅くるら戸内)
Tel.0558-94-5151</p> <p>1 伊豆の国ビジターセンター
(道の駅伊豆のへそ内)
Tel.0558-76-1630</p> | <p>1 松崎ビジターセンター
(明治商家中瀬邸内)
Tel.0558-43-0587</p> <p>1 河津七滝ビジターセンター
(河津七滝観光センター内)
Tel.0558-36-8263</p> <p>2 天城ビジターセンター
(道の駅天城越え・昭和の森会館内)
Tel.0558-85-1110</p> |
|---|--|

マップ面に場所掲載?はジオパーク案内可能スタッフ常駐施設

地域の観光案内

- | | | |
|---|---|---|
| <p>● 西伊豆町観光協会
Tel.0558-52-1268</p> <p>● 松崎町観光協会
Tel.0558-42-0745</p> <p>● 河津町観光協会
Tel.0558-32-0290</p> | <p>● 戸田観光協会
Tel.0558-94-3115</p> <p>● 伊豆の国市観光協会
Tel.055-948-0304</p> <p>● 下田市観光協会
Tel.0558-22-1531</p> | <p>● 沼津観光協会
Tel.055-964-1300</p> <p>● 伊豆市観光案内所
Tel.0558-69-9501</p> |
|---|---|---|

発行元/伊豆半島ジオパーク推進協議会 Tel.0558-72-0520
伊豆市修善寺838-1(修善寺総合会館内) https://izugeopark.org/

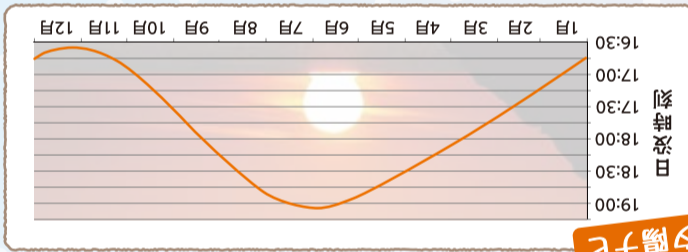
2019年2月発行

西

伊豆半島 ドライブ ジオマップ



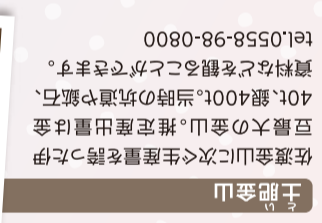
足元に広がる大地からいろいろなものが見えてくる



夕陽の入りはいつか



熱水変質で金・銀ができた!



熱水変質でガラス原料ができた!

かつて日本の板ガラスの原料の約4割を産出していた西伊豆町宇久須。現在は採掘を終えていますが、ガラス原料で、ガラスの原料やガラス作品を観ることが出来ます。



熱水変質で黄銅色に

火山の熱で黄銅色に染め上げられた岩肌は、夕陽に照らされ美しく輝きます。三島由紀夫は「獣の戯れ」の中で船から見た黄金崎を「平滑な一枚の黄金の板のやうに見える」と描写しました。



火山の熱で温められた熱水によって、岩石の成分が溶け出したり、新しい成分が沈積したりします。これを「熱水変質」といいます。西伊豆の海岸のキラキラ輝く鉱物が見られます。キラキラ輝く鉱物が見られます。キラキラ輝く鉱物が見られます。

キラキラ輝く地中の鉱物

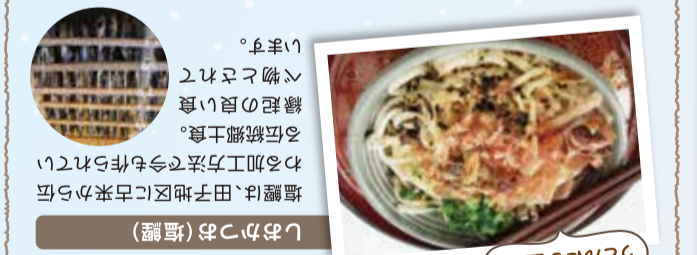
海底火山と夕陽のロマン
白い海岸、赤い夕陽とキラキラと



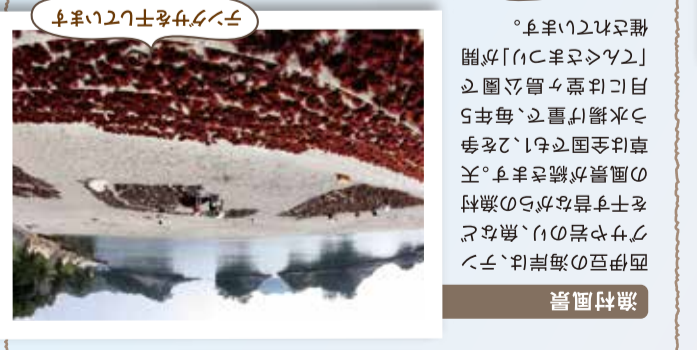
松崎町は桜餅の日本一の生産地。そのため松崎町では「桜餅」ではなく「桜餅」と呼んでいます。



松崎のなまこ壁



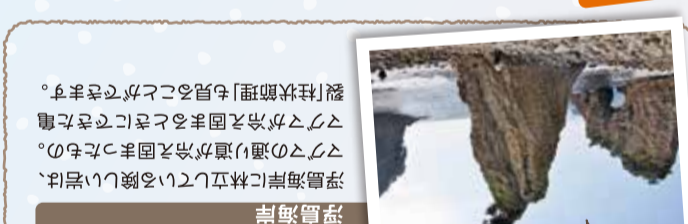
うどんにもtempura



漁村風景

西伊豆の海岸は、トンブツや岩のり、薪などを干す昔ながらの漁村の風景が続きます。天候争奪は全国でも1、2を争う水揚げ量で、毎年5月に堂ヶ島公園で「てんぷすまつり」が開催されています。

漁師の町

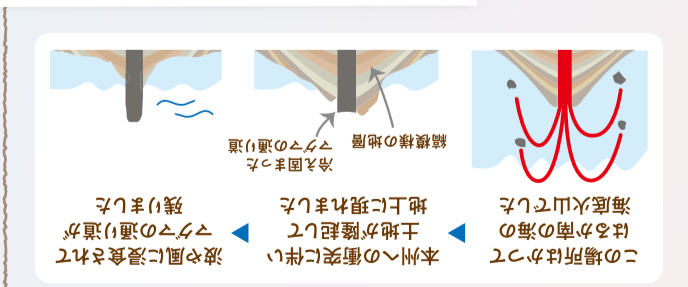


浮島海岸

浮島海岸に林立している険しい岩は、アツアの通り道が冷え固まったもの。アツアの通り道が冷え固まったときにできた亀裂「柱状節理」も見ることができます。



堂ヶ島



この場所がかつては、アツアの通り道が冷え固まったもの。アツアの通り道が冷え固まったときにできた亀裂「柱状節理」も見ることができます。

西伊豆の多くの場所は、伊豆が海底火山だった時代の火山噴出物でできています。火山灰や軽石が降り積もることによってできた亀裂の地層や、アツアの通り道が冷え固まったものが、アツアの通り道が冷え固まったもの。アツアの通り道が冷え固まったときにできた亀裂「柱状節理」も見ることができます。

海底火山時代のシラス地層